

令和4年度

さとうきび増産に向けた取組の実績及び評価

令和6年1月
沖縄県 農林水産部

はじめに

本冊子は、平成27年に見直しを行い策定された「さとうきび増産計画」のもと、各島毎に増産に向けて取り組んだ対策及びその結果をとりまとめ、検証することで、次年度の増産対策、取り組み等へ反映させるために作成しております。

沖縄県におけるさとうきびは、厳しい気象条件下において、比較的安定した生産が可能であり、全耕地面積の約5割を占め、全農家数の約7割が栽培するとともに、とりわけ離島地域においては、製糖を通して雇用機会を確保するなど、農家経済はもとより、地域経済を支える基幹作物となっています。

しかしながら、生産農家の高齢化の進行、担い手不足、都市化の進展、耕作放棄地の増加及び肥培管理等の遅れに加え、病虫害被害や台風・干ばつ等の気象災害の発生等、さとうきびを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このため、ほ場やかんがい施設、防風・防潮林等の生産基盤の整備をはじめ、耕作放棄地の再生利用、農地中間管理事業の活用による担い手への農地の利用集積の加速、機械化一貫作業体系の確立や適期肥培管理の徹底、病虫害防除の早期実施等により、さとうきびの品質及び生産性の向上を図る必要があります。

今後とも、「さとうきび増産計画」及び本冊子でとりまとめた課題、今後の取組方向等に基づき、生産者、製糖企業、JA、市町村等関係機関・団体が連携し、さとうきびの増産に向け取り組みを強化し、生産拡大が図られるよう期待しております。

令和6年1月

沖縄県農林水産部長 前門 尚美

I 令和4年度さとうきび生産実績及び評価（概要）

1 さとうきび生産実績

沖縄県さとうきび増産プロジェクト会議では、さとうきび生産目標の達成に向け、病虫害防除対策、台風・干ばつ対策、高性能農業機械の導入、担い手育成対策、遊休農地解消対策、農業共済への加入促進、地力増進対策等について、生産者や市町村、JA、製糖工場、普及センター等の関係機関が一体となって取り組んだ。

令和4年産の生産実績は、

・収穫面積	13,679ha	（前期	13,791ha）
・単収	5,391kg/10a	（前期	5,913kg/10a）
・生産量	737,439ト	（前期	815,426ト）

であった。

前期に比べて、収穫面積は112ha（0.8%）の減少、単収は522kg/10a（8.8%）の減少、生産量は77,986ト（9.6%）の減少となった。

品質については、平均甘しゅ糖度13.8度（前期15.2度）であった。

[生育概況]

○ 沖縄地域

本島地域は、生育初期は降水量が平年を大きく上回る雨量があり、平年より日照時間が少なく、分けつ数が減少した。生育旺盛期は干ばつ傾向にあり、生育が抑制された。大東地域では、8月・9月の連続した台風により葉片裂傷等の被害を受けたものの、10月・11月は平年に比べて高温で推移した上に適度な降雨もあり、生育が回復した。

○ 宮古地域

生育初期の5月は、長雨と日照不足により、生育の鈍化が見られた。生育旺盛期の7月～8月は、少雨傾向により生育が抑制された。8月・9月に台風が連続して接近したが、被害は比較的軽微であった。11月～12月には、日照不足により生育が鈍化した。

○ 八重山地域

生育初期の5月は、平年の3倍の降雨があり、収穫及び管理作業に遅れが生じ、生育に影響が出た。7月～8月は、干ばつの程度が高く、生育や収量に大きく影響した。8月・9月の連続した台風により被害を受けた。

【さとうきび生産実績と増産プロジェクト計画(増産計画)】

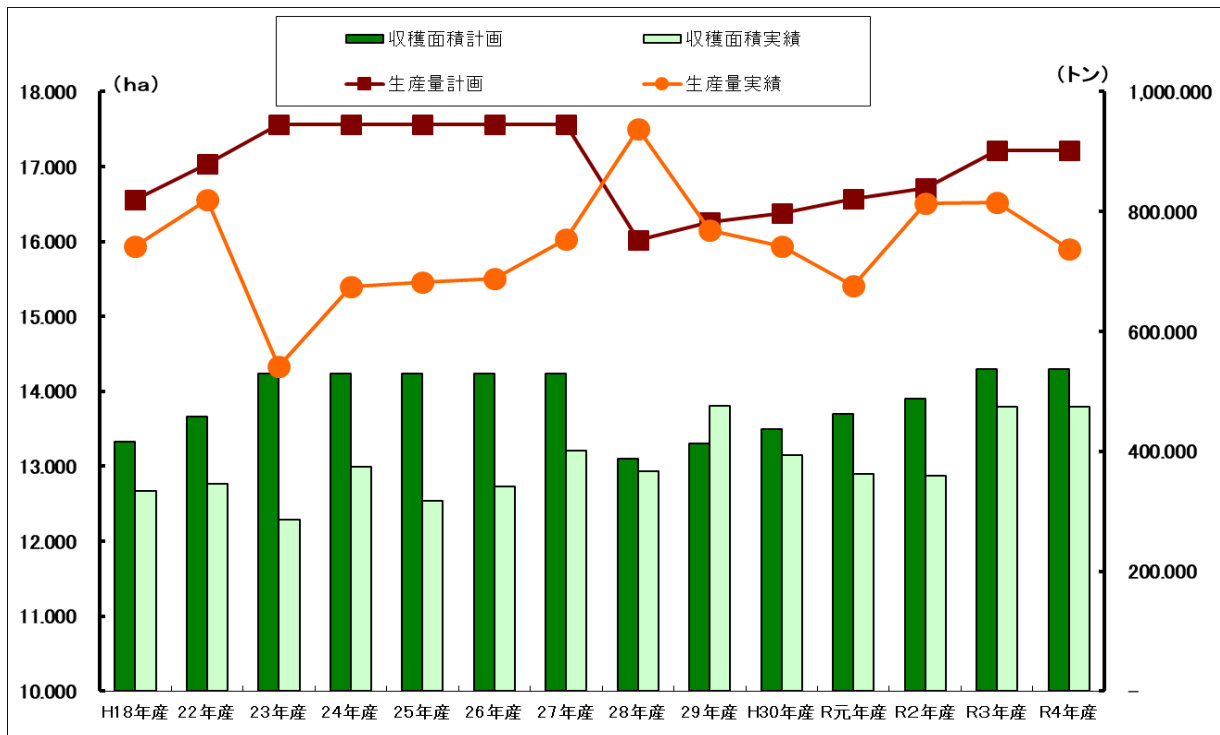
年 産	収穫面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)
平成18年産実績 (目標値/達成率)	12,675 (13,330/95.1%)	5,848 (6,155/95.0%)	741,284 (820,460/90.3%)
平成25年産実績 (目標値/達成率)	12,535 (14,235/88.1%)	5,447 (6,642/82.0%)	682,794 (945,500/72.2%)
平成26年産実績 (目標値/達成率)	12,736 (14,235/89.5%)	5,406 (6,642/81.4%)	688,504 (945,500/72.8%)
平成27年度実績 (目標値/達成率)	13,212 (14,235/89.5%)	5,712 (6,642/86.0%)	754,671 (945,500/79.8%)
平成28年産実績 (目標値/達成率)	12,938 (13,100/98.8%)	7,246 (5,800/124.9%)	937,523 (752,000/124.7%)
平成29年産実績 (目標値/達成率)	13,809 (13,300/103.8%)	5,567 (5,900/94.4%)	768,675 (782,000/98.3%)
平成30年産実績 (目標値/達成度)	13,145 (13,500/97.4%)	5,649 (5,900/95.7%)	742,584 (797,000/93.2%)
令和元年産実績 (目標値/達成度)	12,901 (13,700/94.2%)	5,239 (6,000/87.3%)	675,827 (821,000/82.3%)
令和2年産実績 (目標値/達成度)	12,871 (13,900/92.6%)	6,323 (6,000/105.4%)	813,853 (902,000/90.2%)
令和3年産実績 (目標値/達成度)	13,791 (14,300/96.4%)	5,913 (6,300/93.9%)	815,426 (902,000/90.4%)
令和4年産実績 (目標値/達成率)	13,679 (14,300/95.7%)	5,391 (6,300/85.6%)	737,439 (902,000/81.8%)

注1) 平成18年～平成27年までの目標値は「さとうきび増産プロジェクト計画」値

注2) 平成28年以降目標値は「さとうきび増産計画」値

注3) 令和3年産以降の目標値は令和7年度最終目標値

【増プロ計画における生産量と収穫面積の推移】



2 令和4年度さとうきび増産に向けた主な取組

(1) 経営基盤の強化

① 経営安定対策（交付金）の対象生産者数

令和4年産については、11,683件の申請がなされている。近年は機械収穫が進展し、令和4年度については全収穫面積のうち86%が機械収穫となっている。今後も農業法人等の育成を支援し、機械導入を進める事などにより、生産農家が漏れなく対象となるよう支援していく。

【甘味資源作物生産者要件審査申請書審査結果】(対象生産者数)

	A-1	A-2	A-3	A-4	合計
平成30年産	96	1,426	5,529	5,539	12,590
令和4年産	86	2	5,958	5,520	11,566

注) 令和4年産は未確定値

② 認定農業者の育成

他部門との複合経営農家や後継者との共同経営が見込める農家を中心に認定農業者へ誘導している。

【認定農業者の推移】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
認定農業者(人)	461	440	467	415	409	414	370	314
対前年度増減	83	-21	27	-52	-6	5	-44	-56

③ 農業法人等受託組織の育成

農業法人等を中心とした地域の実態に即した機械化体系に相応しい受託組織の育成を推進している。

【農業法人の推移】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
農業法人(経営体)	157	185	198	207	219	220	228	231
対前年度増減	24	28	13	9	12	1	8	3

④ 共済加入の促進

農家個々の被害の実態に応じた共済掛金率の設定や、各地区での説明会の開催等を通して、共済加入を促進している。

併せて、収入保険制度についても、周知を図るとともに加入促進に努めている。

【面積引受率の推移】

	H27 (28年産)	H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (31年産)	R元 (2年産)	R2 (3年産)	R3 (4年産)	R4 (5年産)
面積引受率(%)	49.8	51.2	48.4	43.6	41.4	36.7	37.4	30.5
対前年度増減	1.1	1.4	-2.8	-4.8	-2.2	-4.7	0.7	-6.9

注) R4年産及びR5年産の数値については暫定値

(2) 生産基盤の強化

① 土地改良

農業生産基盤の整備は、さとうきびの生産性及び品質向上や、農業機械の効率的な稼働を図る上で重要である。特に、干ばつの影響を受けやすい地域においては、かんがい施設の導入・利用を推進している。

【農業農村整備事業(土地基盤整備)の実績】

	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (見込)
ほ場整備率(%)	61.1	61.7	62.3	62.9	63.3	63.8	64.3	68.4
水源整備率(%)	59.8	62.1	62.4	62.5	62.6	62.6	62.8	65.5
畑地かんがい整備率(%)	47.7	48.2	48.8	49.1	49.8	50.4	51.0	53.5

② さとうきび機械化一貫体系による農作業の合理化促進

生産農家の高齢化や収穫作業の省力化に対応するとともに、適期管理の実施により単収向上を図るため、地域の実態に応じたハーベスタ等の高性能農業機械を計画的に導入整備し、機械化一貫体系の確立、農作業の合理化を促進している。

○ 令和4年度導入実績：14地区

- ・ 石垣市等におけるハーベスタなどの収穫機械の整備：8地区
- ・ 宮古島市等における栽培管理作業機等の整備：6地区

【機械収穫率[面積]の比較】

	収穫面積	機械収穫面積	機械収穫率	ハーベスタ収穫率
平成17/18年期	12,485ha	4,392ha	35.2%	33.8%
令和4/5年期	13,679ha	11,790ha	86.2%	84.5%

注) 機械収穫：ハーベスタ、刈取機、脱葉機を含む

③ 「防風林の日」関連行事の開催

安定したさとうきび生産を行うためには、台風等の被害を軽減するための防風・防潮林の整備が不可欠であることから、全県的な取組として毎年11月の第4木曜日を「防風林の日」に定め、防風林の重要性につい

てPRするとともに、防災農業の確立に向けて、生産者をはじめ関係機関が一体となって取り組んでいる。

- 啓発広報：ポスター配布、パネル展、等
- 植樹大会開催：令和4年11月24日、伊江村



(参加者による植樹の様子)

(3) 技術対策

① 気象災害対策

南北大東を中心に本島内でも点滴チューブによる灌水が行われており、安定生産の一助となっている。一方で、かん水資材等の設置や撤去の労力を要するため、機械を用いた点滴チューブの巻き取りなど、労力低減に向けた取組が行われている。

② 病虫害対策

病虫害対策として、発生予察情報に基づいた適期防除を推進するとともに、さとうきび増産基金等を活用した薬剤購入や防除作業委託の助成等、各種対策を実施した。

○ イネヨトウの交信かく乱法による防除

一部地域で発生がみられるイネヨトウの防除の取り組みとして、各地区で対策会議の開催、また、伊平屋村では事業を活用した交信かく乱法による防除を実施した。

さらに、県では低コスト交信かく乱技術によるさとうきびの防除技術の確立を図るための新型フェロモンディスプレイの開発を行い、現在、農薬登録に向けた調整が行われている。

〈交信かく乱法の実施〉

- ・ 沖縄振興特別推進交付金事業〔伊平屋村〕

○ アオドウガネの一斉防除

平成19年度から宮古地域において、誘殺灯を活用したアオドウガネの

一斉防除を実施している。

- ・令和4年度可動式誘殺灯設置数：1,710基（固定式は無し）

【アオドウガネ捕殺数の推移】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
捕殺数(万頭)	317	191	189	307	656	971	1224.4	1,634
対前年度比(%)	169.5	60.3	99.0	162.4	213.7	148.0	126.1	133.4

○ 土壌害虫の防除効果等による株出栽培面積の増加

【宮古島市における株出面積の推移】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
株出面積(ha)	2,037	2,627	3,308	3,037	2,874	2,739	3,158	3,703
対前年増減(ha)	279	590	681	-271	-163	-135	419	545

③ 生産対策

増産に向けた生産対策として、各地域協議会において甘味資源作物生産性向上緊急対策事業等（いわゆる生産対策）を活用し、肥培管理対策、地力増進対策、害虫防除対策等に取り組んだ。

令和3年度(補正予算2次)

甘味資源作物生産性向上緊急対策事業(さとうきび生産性向上緊急支援事業)

事業実施主体	主な事業内容
北部地区さとうきび生産振興対策協議会	肥培管理対策(化学肥料購入助成)
南部地区さとうきび生産振興対策協議会	地力増進対策(深耕・堆肥購入助成)
北大東さとうきび糖業振興会	病虫害防除対策(薬剤購入、散布助成)
伊是名村さとうきび糖業振興会	病虫害防除対策(薬剤購入、散布助成)
久米島さとうきび振興協議会	地力増進対策(堆肥購入助成)、肥培管理対策(除草剤購入助成)
八重山地区さとうきび生産振興協議会	肥培管理対策(化学肥料購入助成)、自然災害による被害軽減(かん水作業委託助成)
西表糖業株式会社	種苗確保対策(採苗ほ設置)、肥培管理対策(除草剤購入助成)
宮古地区さとうきび糖業振興会	地力増進対策(深耕・心土破碎作業の助成)、病虫害防除対策(誘殺灯購入助成)
多良間地区さとうきび生産組合	地力増進対策(堆肥購入助成)

令和4年度(当初)

持続的生産強化対策事業(さとうきび産地確立実証事業)

事業実施主体	主な事業内容
沖縄県農業協同組合	適期株出管理作業に向けた受委託システムの実証を行い、農作業受委託オペレータの育成並びに作業受託体制の普及を推進する。
宮古地区さとうきび糖業振興会	土壌物理性の回復の実証を行い、その結果をマニュアル化することにより普及啓発を行う。

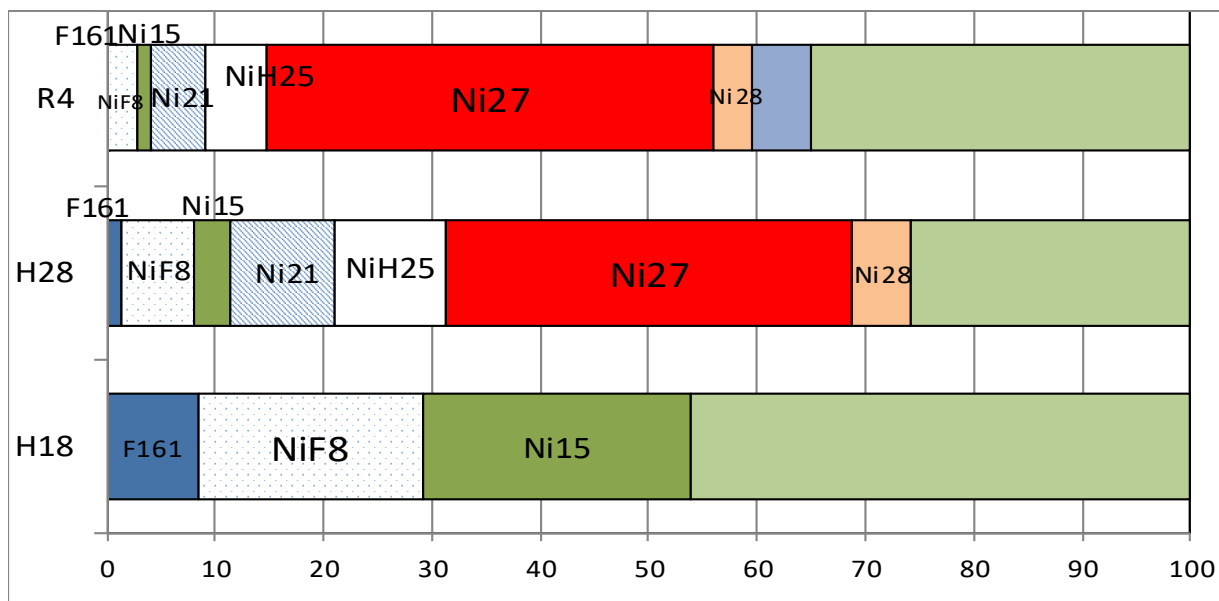
令和4年度(補正予算1次)

甘味資源作物産地生産体制強化緊急対策事業(さとうきび生産性向上緊急支援事業)

事業実施主体	主な事業内容
北部地区さとうきび生産振興対策協議会	肥培管理対策(化学肥料購入助成)
中部地区さとうきび生産振興対策協議会	肥培管理対策(除草剤購入助成)、地力増進対策(堆肥購入助成)
南部地区さとうきび生産振興対策協議会	地力増進対策(深耕、心土破碎助成)
伊平屋村さとうきび生産振興対策協議会	地力増進対策(有機質肥料購入助成)、病虫害防除対策(農業費助成)
久米島さとうきび振興協議会	地力増進対策(有機質堆肥、土壌改良剤購入助成)、肥培管理対策(除草剤購入費助成)
南大東村さとうきび生産振興対策協議会	病虫害防除対策(ハリガネムシ防除)、機械化の推進(ドローン資格取得支援)
北大東製糖株式会社	地力増進対策(有機肥料、緑肥、堆肥購入助成)
宮古地区さとうきび糖業振興会	地力増進対策(心土破碎、緑肥助成)
北部地区さとうきび生産振興対策協議会	収穫作業に係る雇用経費助成
中部地区さとうきび生産振興対策協議会	収穫作業に係る雇用経費助成
南部地区さとうきび生産振興対策協議会	収穫作業に係る雇用経費助成
久米島さとうきび振興協議会	収穫作業に係る雇用経費助成
宮古地区さとうきび糖業振興会	収穫作業に係る雇用経費助成

④ 優良種苗の普及・促進

- さとうきび優良種苗の普及・促進のための種苗ほの設置（種苗対策事業）
原苗ほ設置規模：春植 18.54ha(556,200本)、夏植 26.05ha(781,500本)
- 主要品種の推移（県全域） 単位：%



⑤ 栽培技術の普及等

適期植付や面積拡大及び効果的な技術普及を図るための実演会や講習会等の開催、栽培技術の普及啓発に取り組んでいる。

- 各地区における実演会や講習会等の開催実績

月	大会名または取組名	主な内容	場所
4	第一回共同防除	ライダー、イネトウの一斉防除	伊是名村
5	さとうきび展示圃の設置	畜産堆肥活用の展示圃	与那国町
6	夏植推進大会	夏植進捗状況についての講演会	久米島
	さとうきび苗づくり講習会	種苗管理センター講師による講演会	糸満市
7	干ばつ対策会議	干ばつ対策について	伊平屋村
8	ビレットプランタ実演会	ビレットプランタによる植付実演会	伊是名村
9	さとうきび栽培講習会	栽培技術の普及	中城村
10	さとうきび夏植えビレットプランタ実演会	植付支援、テスト走行	名護市
	夏植え原原種圃場設置	夏植用優良種苗原原種植付	伊是名村
	野ソ駆除剤配布	野ソの被害防止に向けた駆除剤配布	宮古島市
11	さとうきび病害虫に関する講習会	病害虫、適期株出管理、堆肥活用の有効性について	多良間村
12	さとうきび収穫等説明会	収穫等に関する説明	伊江村
	オペレータ研修	製糖期に向けたハーベスタのオペレータ研修	名護市
1	うるま市栽培管理実演会・講習会	JA具志川支店による株出管理支援促進	うるま市
2	さとうきび展示圃設置	肥料試験展示圃設置	今帰仁村
	栽培技術講習会	栽培技術に関する講習会	伊平屋村
3	南大東島視察研修	収穫後の株出管理作業の実施状況視察	南部地区
	フェロモンチューブ設置	ハリガネムシ更新かく乱防除	南大東村

(4) さとうきび増産基金の取組について

取組項目	令和4年度計画		令和4年度実績		国費 令和4年度 実績の構成比
	事業費	うち国費	事業費	うち国費	
単位:円					
病害虫発生時の個別対策					
(1)各種病害虫防除のための薬剤購入費等の助成	210,238,457	127,399,000	212,701,754	127,487,000	39.6%
(2)各種病害虫防除のための作業委託料等の助成					
干ばつ発生時の個別対策					
(1)干ばつ被害軽減のためのかん水作業委託料等の助成					
(2)干ばつ被害軽減のためのかん水資材購入費等の助成					
台風被害発生時の個別対策					
(1)台風後の植替え及び翌年度の新植に向けた種苗の確保に係る経費					
(2)除塩のためのかん水作業委託料等の助成					
(3)早期生産回復及び次作への影響を減らすための対策	193,972,135	117,546,000	212,158,438	127,691,000	39.6%
低糖度時の個別対策					
(1)低糖度時の対策及び翌年度の栽培に向けた対策に対する助成					
共通対策					
(1)各種被害の早期回復及び次作への影響を減らすための対策					
・堆肥、緑肥、土壌改良資材施用及び土壌分析(土壌診断)等に係る経費	8,716,540	5,281,000	10,064,313	5,909,000	1.8%
・株出等管理作業(深耕・心土破砕、施肥、粒剤散布、除草剤散布を含む)の実施に係る経費の助成	137,717,350	83,462,000	97,851,607	57,716,000	17.9%
・苗の確保(種採は設置、代替苗やセル成形苗の育苗や購入等)に係る経費等の助成	3,832,125	2,322,000	3,832,125	2,322,000	0.7%
・かん水作業委託料等の助成					
自然災害等による生産減少の恐れに対する個別対策					
(1)上記の各種対策を複合的に実施					
特認条項					
(1)上記以外の災害等により、一定の条件の場合で、特に対策が必要なものとして協議の上、特に認めるもの					
事務に関する経費(事業実施主体)	1,055,467	960,000	1,071,787	969,000	0.3%
(合計)	555,532,074	336,970,000	537,680,024	322,094,000	100.0%